

うっしっしいー情報2020

5月市



豊岡農業改良普及センター

5月13日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が52万9千円、雌が61万でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	14	0.888	489,186	6	0.840	489,133	20	489,170
丹波篠山	8	0.940	545,325	5	0.834	617,760	13	573,185
丹波	25	0.959	540,892	16	0.878	588,706	41	559,551
朝来	10	0.943	513,040	8	0.798	585,613	18	545,294
播磨	26	0.941	562,015	4	0.80	584,925	30	565,070
美方郡	45	0.966	526,509	38	0.866	687,645	83	600,282
豊岡	20	0.955	534,985	15	0.832	562,467	35	546,763
養父	8	0.958	557,150	16	0.836	607,063	24	590,425
摂津・神戸	7	0.918	471,900	4	0.834	625,900	11	527,900
県北C	10	0.910	488,510	8	0.792	496,513	18	492,067
市場全体	173	0.946	528,986	120	0.844	610,198	293	562,246

5月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸宮土井	12	0.997	601,517	8	0.849	672,650	20	629,970
2	芳悠土井	17	0.974	549,806	15	0.858	699,673	32	620,056
3	照忠土井	12	0.933	512,142	20	0.857	622,435	32	581,075
	総計	173	0.946	528,986	120	0.844	610,198	293	562,246
4	芳山土井	25	0.969	536,932	9	0.874	616,856	34	558,088
5	丸池土井	32	0.939	532,125	26	0.840	588,542	58	557,416
6	丸春土井	18	0.914	532,461	11	0.829	561,900	29	543,628
7	照和土井	12	0.920	536,617	8	0.841	534,600	20	535,810
8	千代藤土井	9	0.937	502,822	6	0.801	570,167	15	529,760
9	宮菊城	8	0.944	464,613	2	0.944	635,800	10	498,850

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸宮土井	C	B	A	A++	A+	A+
2	芳悠土井	A	A → B	B	B	B	A++
3	照忠土井	B	A++	A	A+	A+++	A+
4	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A+
5	丸池土井	C	A+ → A++	C	B → A	A+	A++
6	丸春土井	C	C	B	B	B	A+
7	照和土井	A++ → A+	A++	B → C	B	A	A+
8	千代藤土井	A	A+++	D	A+ → A	A++ → A+	A+
9	宮菊城	A	A+	A++	B	A+	A

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和02年1月現在)

「暑熱対策」～まず、換気扇をつけましょう～

昨年の3月号でも、暑熱対策を話題に取り上げましたが、その効果か?! 但馬・丹波では、換気扇を新たに設置、増設した農家が相次ぎました。換気扇を新規に設置したり、増設したりした事例をご紹介します。

1. 換気扇を新設した例



写真1 換気扇は斜め下向き一方向に設置しよう!

牛舎、新設から10年、換気扇の必要性は感じながらも、設置をためらっていた畜産農家、しかし、最近の暑さに牛がまいてる姿に、この冬に換気扇を設置することを決断しました。

牛の適温域は、人間より低く、30度を超えると生産性に影響がでます(表1)。また、牛が感じる「体感温度」は、風速によって変わります(表2)。風速0.5m/秒、1m/秒、2m/秒で、それぞれ、4.2度、6度、8.5度、体感温度が下がるといわれており、暑熱対策は、まず、換気扇の設置です。

表1. 肉用牛の適温域と生産環境限界温度

	適温域(°C)	生産環境限界温度(°C)	
		低温	高温
哺乳子牛	13~25	5	32
繁殖牛	10~15	-10	30
肥育牛	15~25	5	30

※生産環境限界温度：この温度より上がる(下がる)と牛の活動に影響が出る温度

表2. 風速による体感温度の変化

環境温度(°C)	風速(m/秒)	体感温度(°C)
28.0	0.5	23.8
	1.0	22.0
	2.0	19.5
32.0	0.5	27.8
	1.0	26.0
	2.0	23.5

換気扇3台とインバーターを組み合わせ、夏は送風による体感温度の低下を中心に、冬は、空気ごもりがちな牛舎内の緩やかな換気を目的に設置しました。換気扇は一列に斜めに吊るし、牛舎内の空気の流れがスムーズになるようにしました。その効果は、今年の夏から実感することでしょう。

2. サイクロン型大型ファン(空気を押していくような換気をする)



写真2 サイクロン型ファンの羽根径は183cm(整流板取り付け前)

昨年の3月号の紙面で紹介した「サイクロン型ファン」と呼ばれる大型ファンを設置した農家があります。サイクロン型ファンは特殊な羽根と整流板で一定の範囲・高さに風を調整でき、幅広く遠くまで送れるのが特徴です。従来の換気扇では届かなかったところへ送風することもできます。

サイクロン型ファンの風速の分布を地上高30cmで調査した結果を図示しました。除糞通路では、1.0m/秒以上の風が牛舎端まで確保されています。牛がいる繋ぎ場では障害物(牛)により風量が制限され、

0.5~1.0m/秒まで下がりますが、一般的な換気扇ではこの距離までは風が届きません。

地上高120cmでの風速も調査しましたが、地上高30cmでの風速の方が強く、現在の設置状態では、下方への風の量が多い結果になりました。設置した農家は、「サイクロン型ファンは風を全体に押していくような換気をする」と感じています。この夏に向けて、サイクロン型ファンの位置、整流板を微調整し、より幅広く、より遠くまで風が届くようにする予定です。

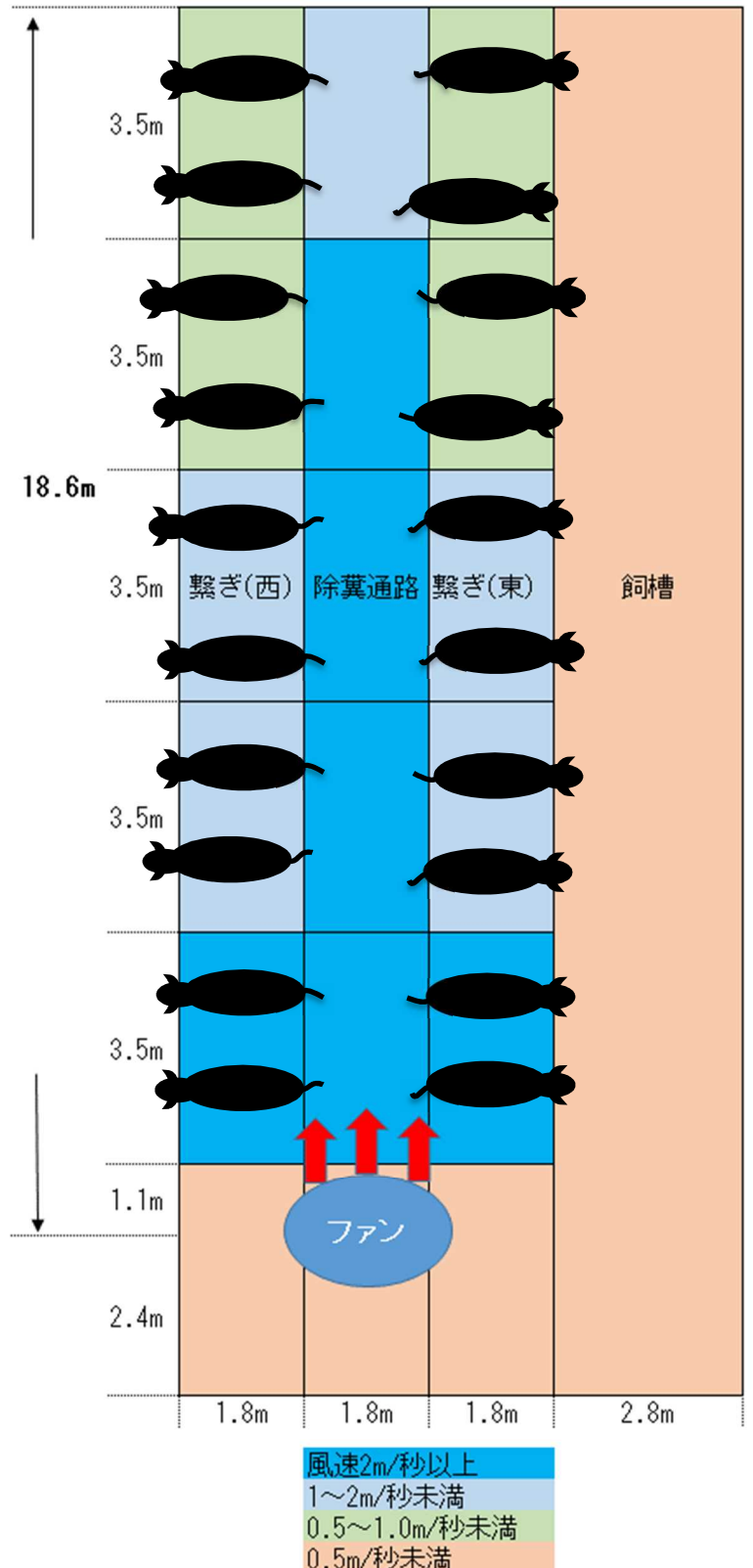


図 サイクロン型ファン地上高30cmでの風速分布



写真3 サイクロン型ファンの設置の状況